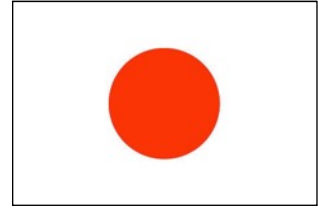
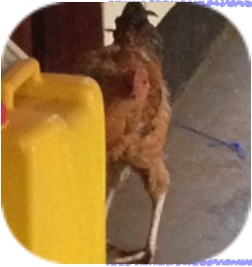




ウガ広報



From Uganda | To Japan | Ono Kenta Menya



みなさんこんにちは！平成27年度1次隊の理科教育でアフリカのウガンダに派遣されています、小野健太です。こちらは今月の13日をもって1学期を終え、学期休みに入りました！今回はこの1学期にあったイベントや、自分自身の活動について紹介したいと思います。左の写真、家の中に侵入していた鶏が、こちらの様子を伺っている一枚。ドアを開けたまましていると、鶏やヤギなどの訪問があります…美味しそうな匂いがしたのでしょうか？笑

今学期の出来事

22/FEB/2016

1学期開始！

大統領選挙によって1ヶ月遅れの始業。新入生の登録手続きや、寮生の迎え入れなどで最初の週はみんなバタバタしていました。

25/FEB - 04/MAR

学期開けテスト

上級生は計7日間、朝から夕方までテストテストテスト…ちなみに1科目2時間とか3時間もあるので、試験監督も大変！

07/MAR - 23/MAR

寮対抗スポーツ大会！

11/APR - 18/APR

揉めに揉めた中間テスト

前号でも紹介しましたが、先生のテスト問題未提出、メカトラブルなどにより遅れた挙句、授業もしたいので、早朝と放課後に実施…

04/MAY - 12/MAY

中間から2週開けての期末テスト

白熱！寮対抗スポーツ大会



学期開けテストを終えたら授業が始まったのですが、それとともに放課後に寮対抗のスポーツ大会を開催！生徒は、6つある寮のいずれかに所属し、その中の代表選手として試合を行います。競技はサッカー、バレーボール、ネットボールの3種目。ネットボールは日本であまりメジャーではありませんが、バスケットを女性向けにアレンジした競技で、ドリブルが無く、ボールを持った選手から90cm以上離れるなどのルールがあります。中でも人気はやはりフットボール！観客も多く、先生方も盛り上がっていました。しかしよく見ると全員が靴を履いている訳ではなく、中には裸足の子も。それでも石やゴミなどが散らばるグラウンドを駆け回っている姿には見ているこちらも元気をもらいました！



左の写真は審判。なんと彼は靴の代わりになんと靴下を数枚重ね履き！審判は熱狂してグラウンドに入ってくる生徒を制止したりと、選手並みに駆け回っていました（笑）

寮の種類と由来

Ruwenzori

ウガンダ最高峰ルウェンゾリ山

Elgon

次峰、エルゴン山から

Moroto

北東カラモジャ地方のモロト山

Mufumbiro

南西の国境沿いムフンビロ山

Kyoga

北東に位置する湖、キョガ湖

Victoria

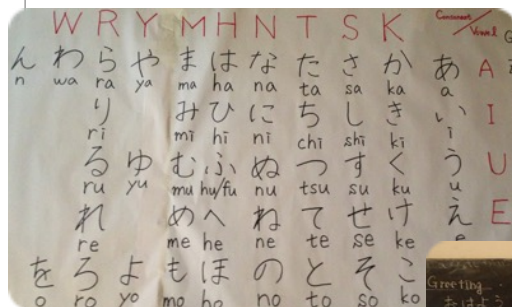
アフリカ最大の湖、ビクトリア湖

ウガンダで日本語！～日本語教室 in KCN*～



今学期は同じ任地の隊員と協力して「日本語教室を行いました！発端は「日本について少しでも正しい知識を持って貰いたい」という意見から。幸い日本語を学んでみたいという要望が多かったので、校長先生に相談したところ快諾して頂き、開催に至りました。生徒にとって初めての日本語である上、私にとっても日本語を教えるのは初めての経験。「日本語は難しい言語」とはよく聞き

ますが、教える立場に立ってみて、改めてその難しさを感じました。写真は授業開始時の「お辞儀」と一緒に「お願いします」日本の学校では当たり前の様子ですが、この「お願いします」皆さんならどのように説明しますか？



左：手作り五十音表。今回は平仮名のみで日本語を教えました。

下：文字の種類の説明。1つの文に複数の文字が混在する日本語に生徒達は困惑。



このウガ広報、日本語で書かれています。改めて見ると平仮名、片仮名、漢字、算用数字、ついでにアルファベットまで、と5種類の文字が入り混じっています。また、文は平仮名のみでも書くこと

ができます。と言われて「そうですね」と納得できるのは日本語が母国語だから。さらに日本語でアルファベットに相当する平仮名の数も英語の2倍以上存在するため、感じを掴むだけでもハードルが高いとわかりました。それでも意欲的な生徒達は真剣に取り組んでくれて、挨拶・自己紹介・こそあど言葉を使って物の名前の説明までできるようになりました！授業準備していて初めて知ったことなのですが、日本語の「ら行」の子音は「r」で書かれることが多いのですが、実際は「r」と「l」の中間の発音らしく、それが日本人が「r」と「l」の区別が苦手としている理由の一つでもあるらしいです。



日本語教室は手作り草鞋を履いて行いました！初めて見るサンダルに生徒は興味津々！自分は草鞋作りには初挑戦、形やサイズ調整が大変でしたが楽しかったです！

授業以外にも日本語教室やパソコンの実習補助などの活動を通して忙しくさせて頂いています！それと共に仲のいい生徒も増え、質問に来てくれる人数・回数が増えてきました。そうした生徒に「知識」というサポートは行えるのですが、学費が払え無い、家計が厳しいといったことには全くの無力です。実際に仲の良い生徒が学費を払えず、テストが受けられ無いという事態が起こり、私自身苦しい思いをしました。無力さを嘆くばかりでなく、自分ができるサポートを少しでも多く探し実行していこうと腕を凝らしています。

テストの違いあれこれ

丸付けは「✓」or「✕」

日本では正解は「○」不正解は「✕」が一般的ですよね？しかし世界的には✓or✕が一般的なようです。ウガンダの先生の「✕」は繋がって「✖」になっています。笑ちなみに、部分点は✓に「l」を加えてばってんのようにしますが、見分け辛い...

複数枚のテスト用紙は紐で縛る！

ホッチキスは田舎町のタウンでも文房具屋さんに行けば売っています。けれども圧倒的に紐が安い！ということで配布するのですが、生徒によって結び方はまちまち...そしてテストはとてものがさばります（汗



テスト作成人員は秘書一人！？

テストの問題自体は先生が作りますが、それをWordなどの文書作成ソフトで作るのは秘書の仕事。ほぼ全ての教科を秘書が1人でカバーしています。しかし、理系科目が得意で無い秘書のため、図や単位に間違いor不明瞭な点が多く見られ、最近は理系科目は自分が入力の手伝いをしています。けれども、いずれはそれぞれの先生が作れるようになるのがベストだと考え、コンピュータの先生と、教員向けのワークショップ開催を計画しています！

* KCN: Kisiki College Namutumba (私の赴任している学校) の略称です。